

息子、祖母、そしてお客様も笑顔で乗り降りしています

おぼてみほ
尾保手 三補さん (和歌山県海南市)



海南市で三代にわたって理容店を営む尾保手さん。肢体が不自由な長男・大知くんのために購入したセレナアンシャンテ ステップタイプですが、祖母・茂美さんの通院、そしてお客様の送迎にも大活躍です。

半年で走行距離は
8,000km超

「購入したのは今年の2月ですから、現在6か月弱。休日はほとんど家族でドライブしています。すでに走行距離は8,000kmを超えました」。そう語るのは、

祖父が始めた理容店を、母・玲子さんと切り盛りする三代目の尾保手三補さん(40歳)。この走行距離からも、そのドライブ好きがうかがえる。

「会社勤めの主人と休日が重なるのは月に1~2回程度ですが、ほとんどドライブに行っています。最近では三重県



海南市で三代にわたって理容店を営む尾保手家。現在の「HAIR SALON OBOTE」。

桑名にある『ナガシマスパーランド』のプールで遊んできました。家族全員がアウトドア大好き、オートキャンプもしょっちゅうです」

三補さんは、夫・啓二さん(40歳)、長女・彩乃さん(11歳)、長男・大知くん(7歳)、次女・香乃ちゃん(4歳)の5人家族。それに三補さんのご両親と同居している。近くでは祖母の茂美さんが1人で暮らしている。

「とにかく、クルマに乗るのが大好き(笑)。啓二さんが休みでないときでも、時間ができると子どもたちを乗せて、買い物や食事、映画などに出かけています」(三補さんの母・玲子さん)



アシストグリップを使って乗り込む大知くんを介助する彩乃さん。



三補さんの母・玲子さん「乗るのがとっても楽になりました」(左)。助手席とスライドドアで同時に使えるので、乗り降りもスムーズに行える(右)。



お昼寝中の香乃ちゃんを除く、家族4人で「行ってきまーす」(上)。ラゲッジスペースも広いので、大きめの犬知くんのバギー型車いすも楽に収納できる(右)。



リハビリ送迎のため、クルマを乗りかえる

7年前に生まれた大知くんの動作がおかしいと感じたのは、生後3か月が経った頃。診断の結果は脳性まひだった。肢体が不自由な大知くんのために、まず行ったのはクルマの乗りかえだった。主な目的は、リハビリ施設への毎日の送迎。「それまでは普通車に乗っていましたが、大知を抱えて乗り込むには、天井が高いほうが便利。そこで日産自動車の販売をしている従兄弟に相談して、セレナの中古車を購入しました」(三補さん)

さらに「大知のことを祈願するため、寺巡りも始めました。すでに50弱のお寺を巡りました。最近では家族全員のドライブとしても楽しんでいます」(啓二さん)

地域の人々にも評判

あれから7年、大知くんの体重も20kgを超えるようになった。2年前から

通っている特別支援学校の送迎はバスでしてくれるが、リハビリ施設への送迎は三補さんがしなければならない。

「さすがに抱えるのはたいへん。それに大知には、クルマの乗り降りも含め、自分でできることは自分でやるのもリハビリになる」(三補さん)

そこで再び従兄弟に相談したところ、勧められたのがセレナアンシャンテ ステップタイプだった。「セレナは乗り慣れていたし、気に入っていたハイウェイスターにも設定があるということで、発売されると迷うことなく購入しました」(三補さん)

2人のときには、やはり運転者の隣に座りたいもの。その意味でも「助手席にもステップがあるのは便利です」(啓二



この日、訪れていた叔母の角川千次子さんもLVユーザーだ。妹の通院のため、キューブアンシャンテ 助手席スライドアップシートを購入されたとのこと。

さん)。さらに「近くに住む祖母を病院に送迎するのですが、本人も『本当に楽になった』と喜んでます」(三補さん)

加えて、理容店のお客様からも評判だ。「この辺は交通機関が不便なため、希望によってお客様の送迎も行っています。高齢者の方が多いのですが、『格好いいクルマだし、乗り降りしやすい。こりゃ、いいや』と店の評判も高くなりました(笑)」(三補さん)

セレナアンシャンテ ステップタイプは、ご家族はもちろん、地域の方々にも喜んでいただいているようです。

取材協力:日産プリンス和歌山販売 和歌浦支店

セレナアンシャンテ
ステップタイプ
助手席側でもスライドドア側でもつかえる
ドア開閉連動式のロングステップ



詳しくは、WEBまたはカタログで
▶▶▶ LV.nissan.co.jp
*カタログの請求は本誌添付ハガキでもできます。